

道路の修繕、カーブミラーの設置、公園の改善など

土木センター との交渉で改善進む

11月4日、道路の舗装やカーブミラーの設置、公園のトイレ設置、雨水の流れ込みの対策など、多岐の要望を持ち寄り、熊本市土木部と改善を求めた交渉を行いました。

「見通しの悪い交差点にカーブミラーの設置を！」「道が暗く通学にも

危ない。街路灯の設置を」「舗装がされておらず、雨の日など大変歩きにくい」など、地域住民の方から具体的な声が寄せられました。

当日は、土木部長ほか東・西・北の各土木センターのみなさんが対応し、要望ごとの対応について報告がありました。

項目一つ一つに対して、丁寧に現場を調査し、すでに改善をされている箇所もあったほか、今後の計画、改善に向けての課題などが

明らかになりました。

「要望を寄せていただきありがとうございました」との言葉に、安全で安心な環境整備を市民と一緒にすすめていきたいとの、道路や河川整備に携わる市職員のおもいが感じられる交渉となりました。

改善が必要な場所があればお寄せください

今回の要望を通じ感じたことは、日頃から地域に目を向け、高齢者や子どもの目線に立って、危険な箇所や改善が必要な箇所を

把握する必要があるということです。みなさんの周りにも改善が必要な場所があれば、ぜひお寄せください。

生活に身近な道路・河川の整備予算

道路整備や河川の改修など生活に密着した公共工事は、地元業者の仕事にもつながり、地域住民にも中小建設業者にも喜ばれています。

地域経済が低迷している今、抜本的に生活福祉型の公共事業を拡充し、安心安全な環境整備の促進と地域経済の振興を図ることが求められます。

12月議会の日程が決まりました

- 12月4日…開会
- 8日～11日…一般質問
- 16日…各常任委員会
- 21日…最終日：質疑・討論・採決

※請願は、12月4日午後5時まで
※陳情は、9日頃までに

上野みえこ議員が一般質問を行う予定です

取り上げてほしい意見・要望がありましたら、お寄せください。

(控室から) 益田牧子
「沈まぬ太陽」からのメッセージ
山崎豊子さんのベストセラー小説「沈まぬ太陽」が待望の映画化。封切初日に、三時間半の大作を観賞しました。信念を持ち、働く仲間と共に、困難に立ち向かう主人公に励まされます。家族の苦勞にもホロリ！
改めて、主人公のモデル的存在の小倉寛太郎さんの著書「自然に生きる」を読みました。小倉さんの人生へのメッセージは、「余裕とユーモアと転んでもただでは起きない心でぶてしこ」を持ち、生きるということ。この本を通して、山崎豊子さんが、八年間の取材を重ね、執念を持ちこの本を世に送り出したのは、「戦争を繰り返さないためには、正論が正論として通る世の中にするため」だったことを知りました。「労働組合を扱った本は売れないだろう」との不安をよそに、一五〇万部を越すベストセラーになり、ついに映画化。激動の時代を「どう生きていくのか」私たちへの熱いメッセージのこもった映画です。ご覧になった方も多いと思いますが、まだの方は、どうぞ映画館へ足をお運びください。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまだか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO 685
2009年11月15日
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：http://www5.ocn.ne.jp/~kumamsu/